

令和5年度 三木市の介護保険事業の特徴

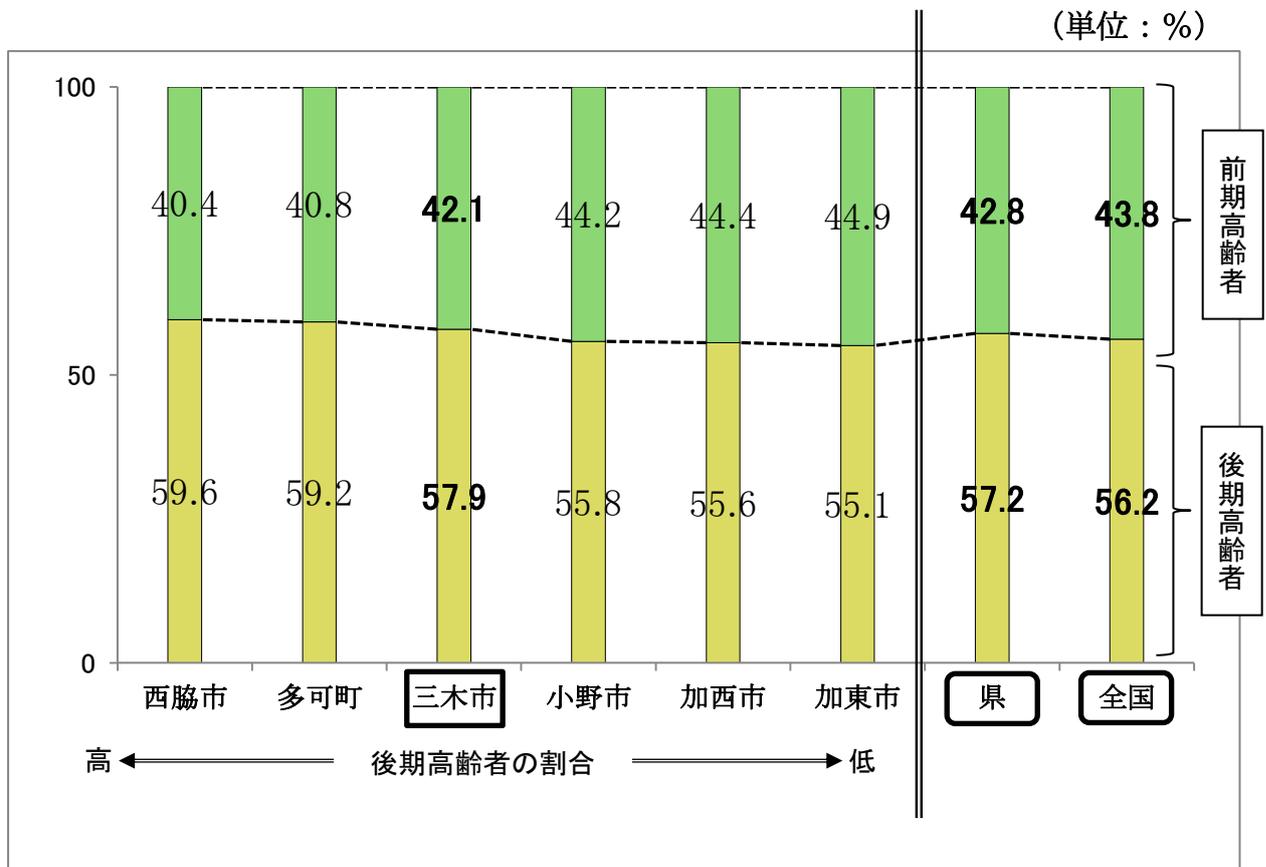
三木市介護保険課

三木市の要介護認定率や介護給付費などについて、厚生労働省の「地域包括ケア『見える化』システム」を活用し、全国平均（以下「国」という。）、兵庫県平均（以下「県」という。）、近隣5市1町（西脇市、小野市、加西市、加東市、多可町。以下「北播磨市町」という。）と比較分析した結果を公表します。

1 高齢者の割合

(1) 前期・後期高齢者の比率（令和6年3月）

三木市の前期高齢者（65歳～74歳）と後期高齢者（75歳以上）の比率は、後期高齢者の割合が国平均より1.7%、県平均より0.7%高くなっており、北播磨市町の中でもやや高めです。

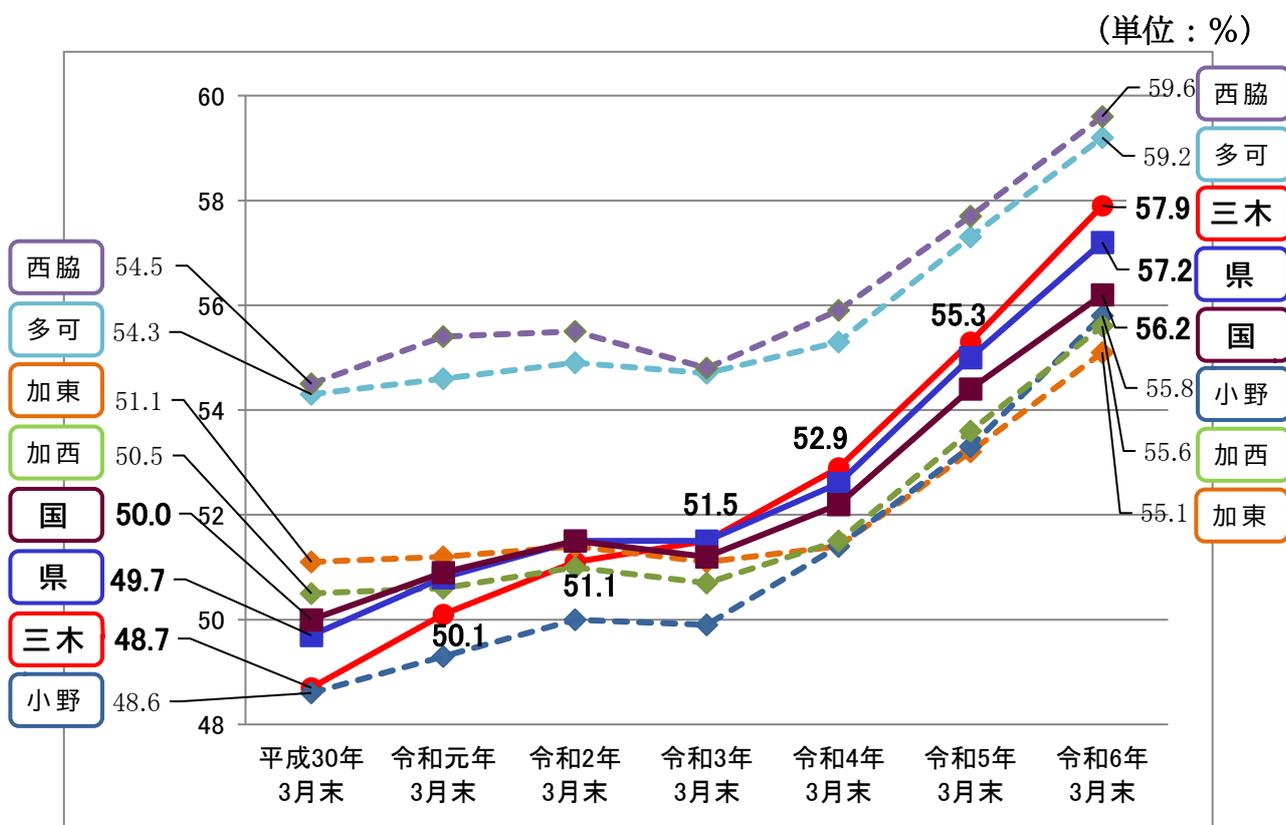


(2) 65歳以上に占める後期高齢者の割合の推移（各年3月末）

平成30年3月末の三木市の後期高齢者の割合（48.7%）は、国平均（50.0%）や県平均（49.7%）よりも低く、北播磨市町の中では低い状況でした。

しかし、三木市の後期高齢者数が近年急増したことで、令和6年3月末の後期高齢者の割合は57.9%となり、6年間で約8%も上がりました。これは国平均（56.2%）より1.7%、県平均（57.2%）より0.7%高くなっています。

令和6年3月に策定した第9期介護保険事業計画における三木市の人口推計では、令和8年には令和6年3月より5.4%高い63.3%と見込まれており、今後も介護保険サービスの需要が高まっていくことが予想されます。



2 要介護認定率（65歳以上）

(1) 要介護認定率（各年3月末）

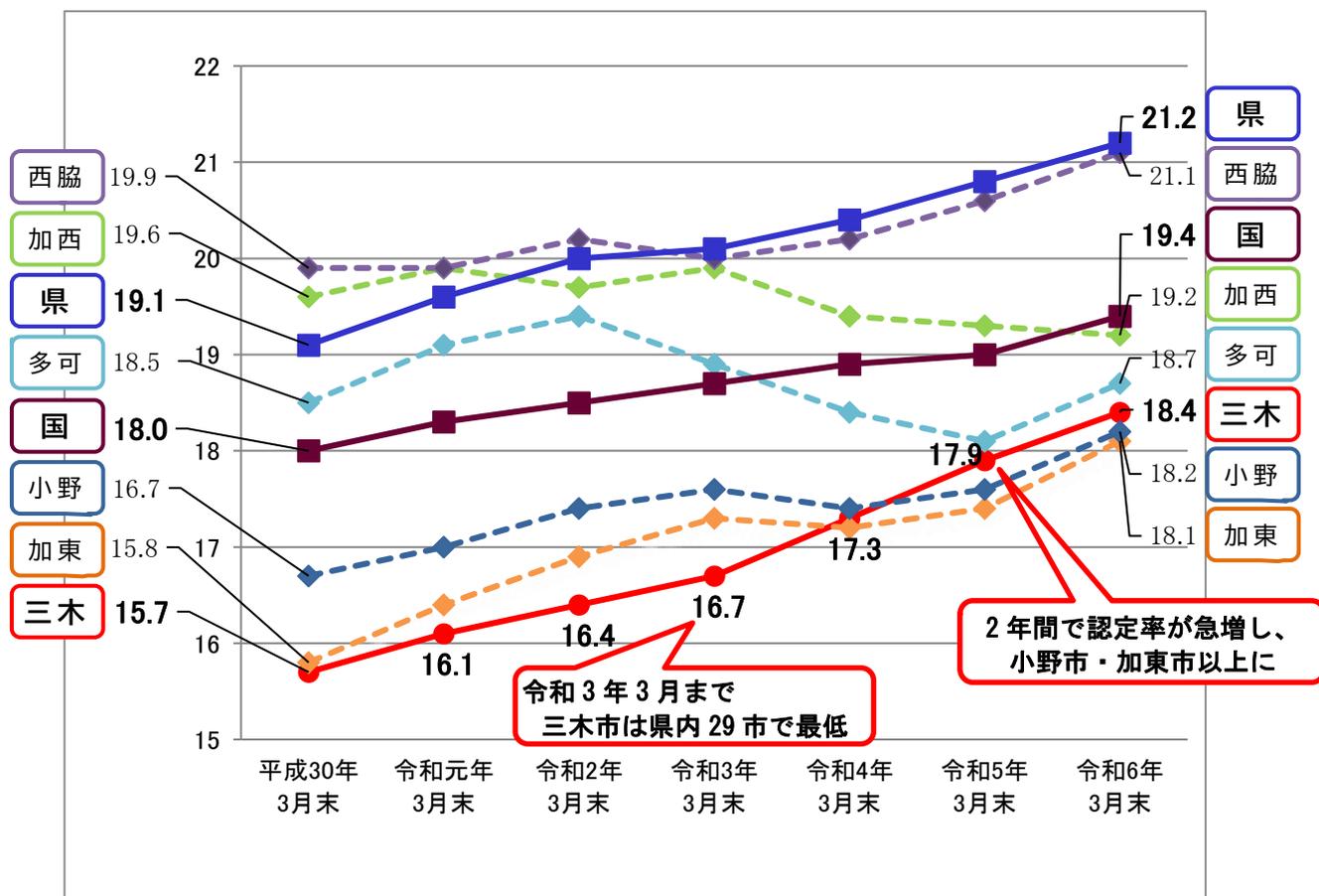
要介護認定率は、65歳以上の介護保険第1号被保険者のうち要支援・要介護認定を受けた方の割合です。

三木市の要介護認定率は、令和3年まで9年連続で県内の市で最も低い状況でした。しかし、令和4年3月末に17.3%となって以降、令和6年3月末では18.4%となり、三田市（17.0%）、加東市（18.1%）、小野市（18.2%）に次ぎ、県内の市で低い順から4番目となりました。

また、北播磨市町の要介護認定率（18.1%～21.1%）は、いずれも県平均より低くなっています。

三木市は、介護の必要度が高いとされる後期高齢者の割合が、平成30年では低かったため、要介護認定率も低くなっています。しかし、近年、後期高齢者の割合が急激に増加しており、要介護認定率も連動して伸びが大きくなっています。

(単位：%)

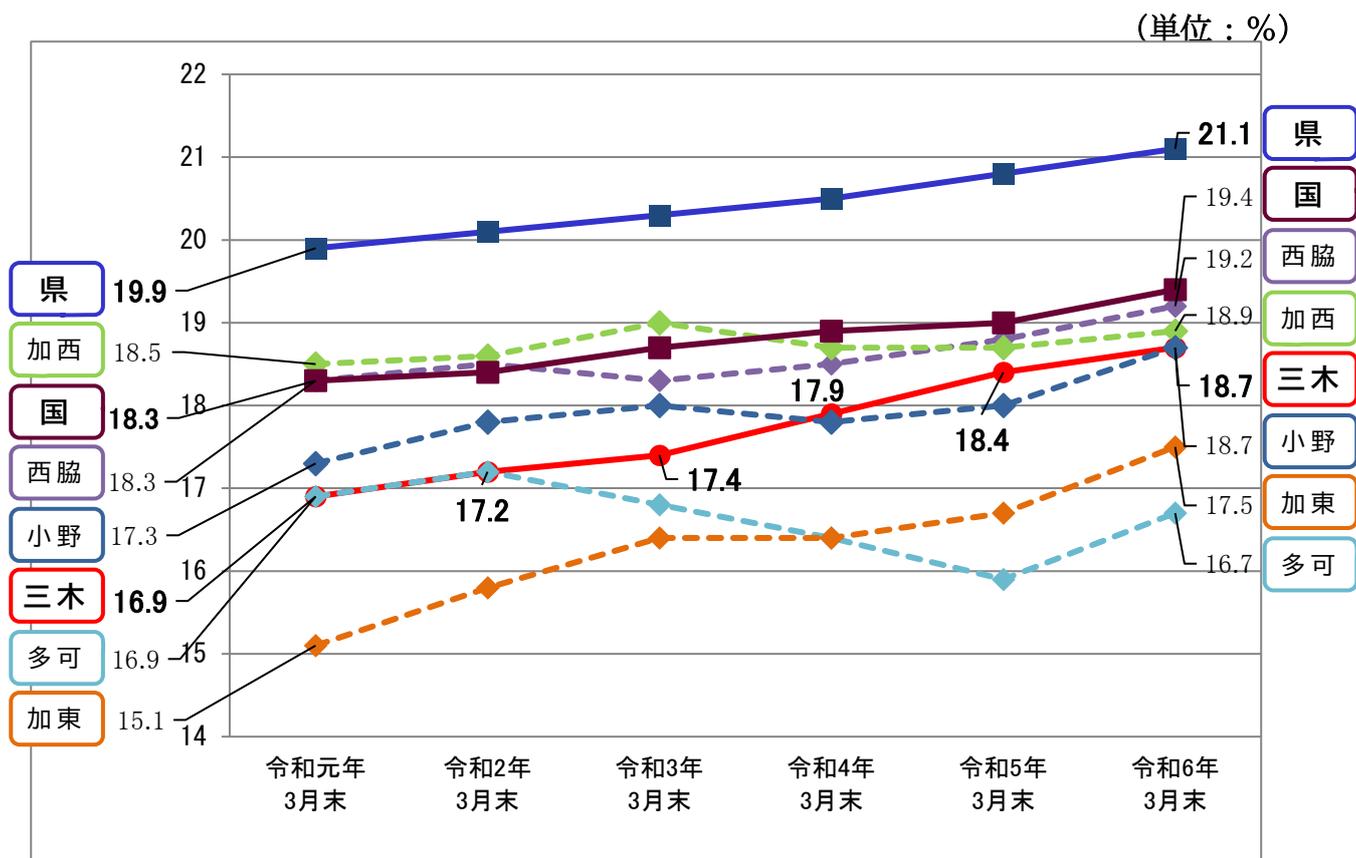


(2) 調整済み認定率（各年3月末）

要介護認定者の割合は年齢とともに増加します。このため、75歳以上の後期高齢者の割合が高い市町村ほど要介護認定率が上がる傾向にあります。

調整済み認定率は、仮に国平均と同じ人口構成比に置き換えた場合の認定率です。

三木市の令和6年3月末の調整済み認定率は18.7%で、国平均（19.4%）や県平均（21.1%）よりも低くなっています。



(3) 調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率

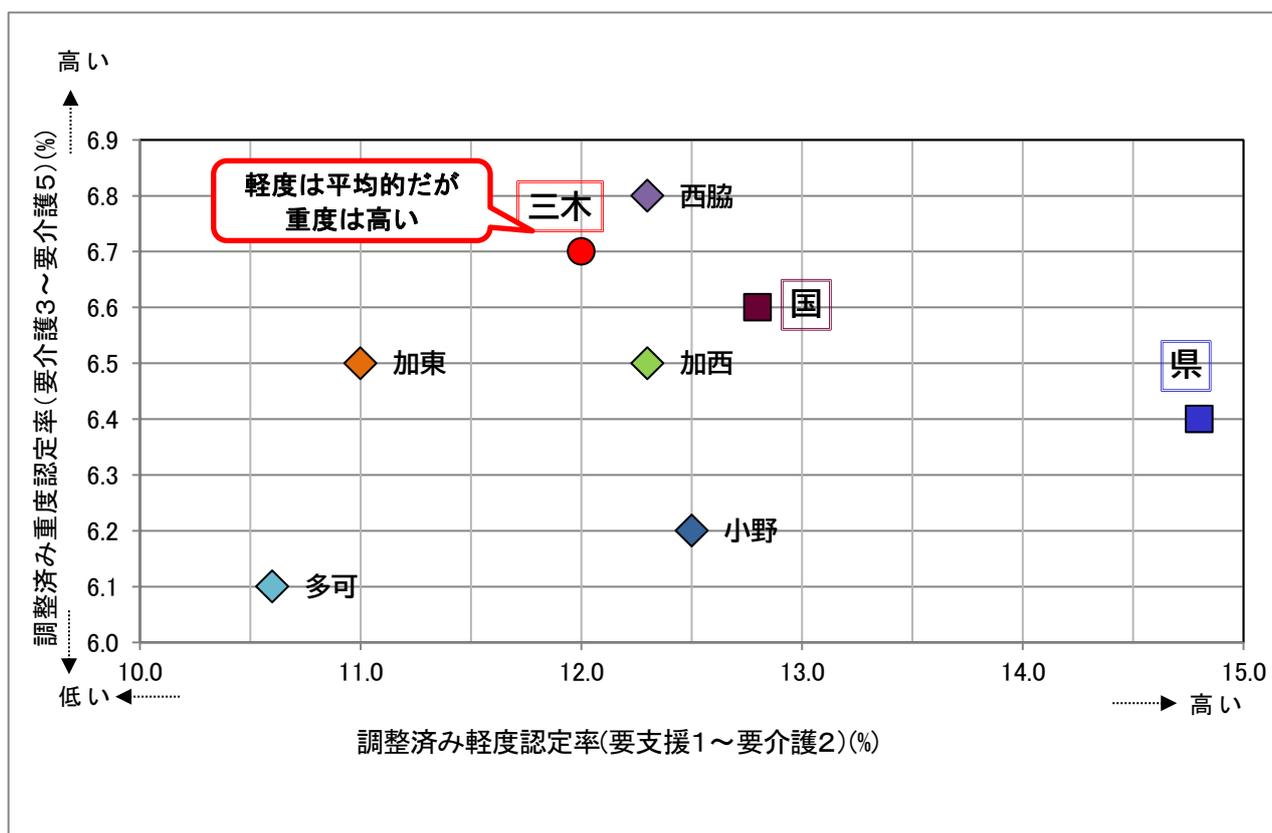
調整済み認定率について「重度（要介護3～要介護5）」と「軽度（要支援1～要介護2）」に分けています。

調整済み重度認定率は、三木市は6.7%で、国平均（6.6%）、県平均（6.4%）や北播磨市町（6.1%～6.8%）に比べて高い位置にあります。

調整済み軽度認定率は、三木市は12.0%で、国平均（12.8%）や県（14.8%）よりも低いものの、北播磨市町（10.6%～12.5%）に比べて平均的な位置にあります。

健康寿命の延伸に向け、フレイル予防の3つの柱（口腔と栄養・運動・社会参加）を軸として、「みつきい☆いきいき体操」や「みつきい☆シニア健康サポート事業」など介護予防の取組みを進めます。

【調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布（令和5年（2023年））】



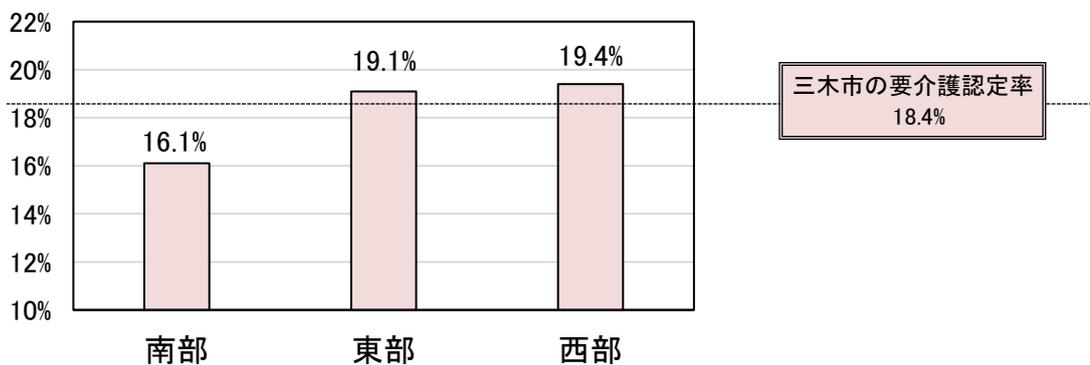
(4) 日常生活圏域別の要介護認定率（令和6年3月末）

三木市では、地理的条件や人口、交通事情その他の社会的条件、介護サービス提供施設の整備状況などから、3つの日常生活圏域を設定しています。



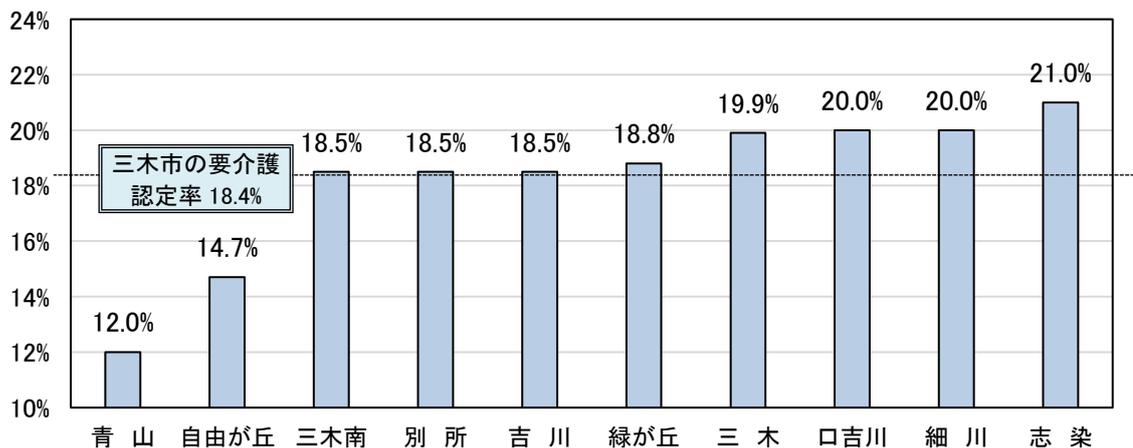
① 日常生活圏域別

65歳以上に占める後期高齢者の割合に応じて、南部圏域が低く、東部・西部圏域が高くなっています。



② 地区別

南部圏域である青山・自由が丘地区などが低く、東部圏域である口吉川・細川地区などが高くなっています。



3 受給率 (令和5年度)

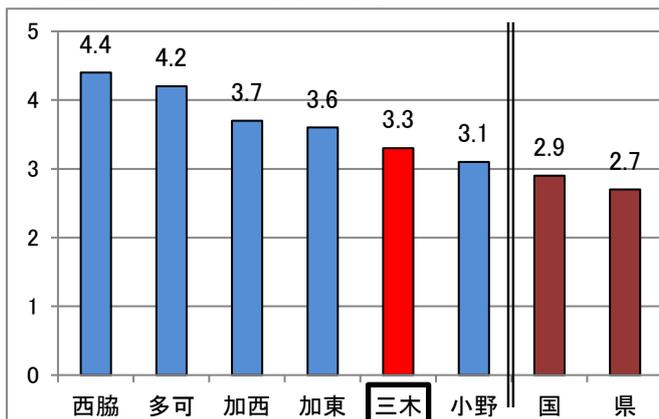
受給率=各サービスの受給者数/第1号被保険者数

三木市の介護保険の利用は、北播磨市町に比べて受給率が低くなっています。

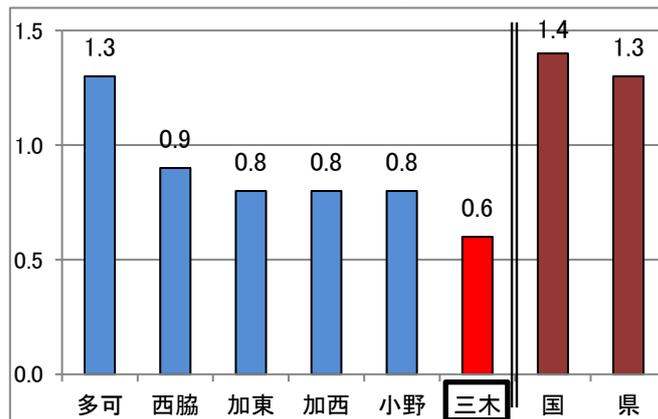
施設サービスの受給率は、北播磨各市町とも国・県平均より上回っています。

しかし、三木市の在宅サービスの受給率は低い傾向にあり、三木市の介護サービスは、居住系や在宅サービスよりも施設サービスの利用意向が高くなっています。

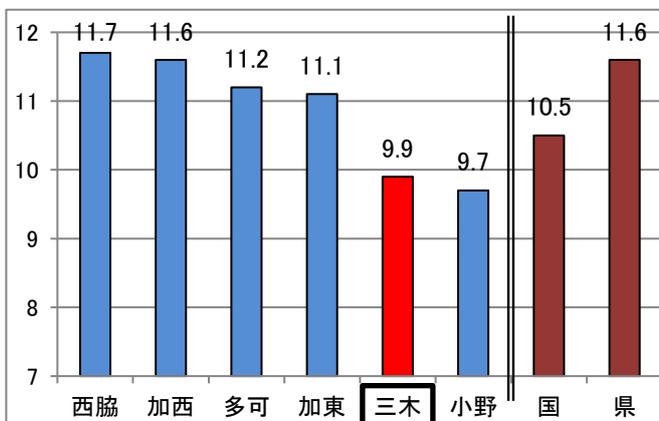
【施設サービスの受給率】 (単位：%)



【居住系サービスの受給率】 (単位：%)



【在宅サービスの受給率】 (単位：%)



区分	含まれるサービス
施設サービス	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設（※）、介護医療院、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
居住系サービス	認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護
在宅サービス	訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与、特定福祉用具販売費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

※令和6年3月末で廃止

4 サービス費給付月額

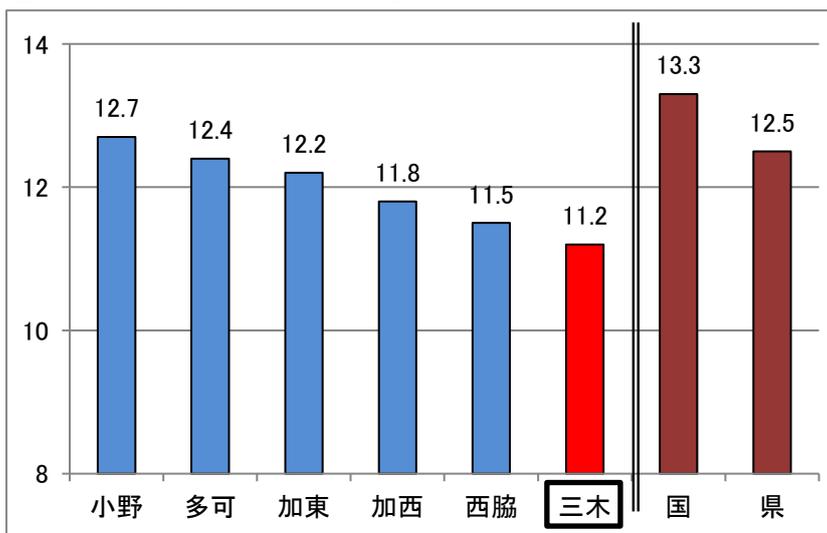
(1) 受給者1人当たり介護サービス費給付月額（令和5年度）

$$\text{受給者1人当たり給付月額} = \frac{\text{各サービスの給付費の総額}}{\text{受給者数}}$$

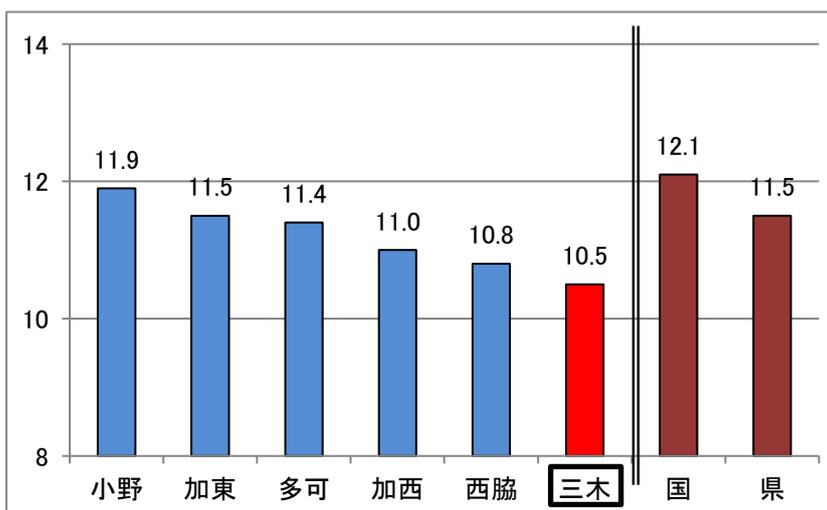
① サービス系列別

「在宅及び居住系サービス」と「在宅サービス」に分けて給付費月額を見た場合、三木市はいずれも国・県平均、北播磨市町よりも低くなっています。

【在宅及び居住系サービス】 (単位：万円)



【在宅サービス】 (単位：万円)



② サービス別

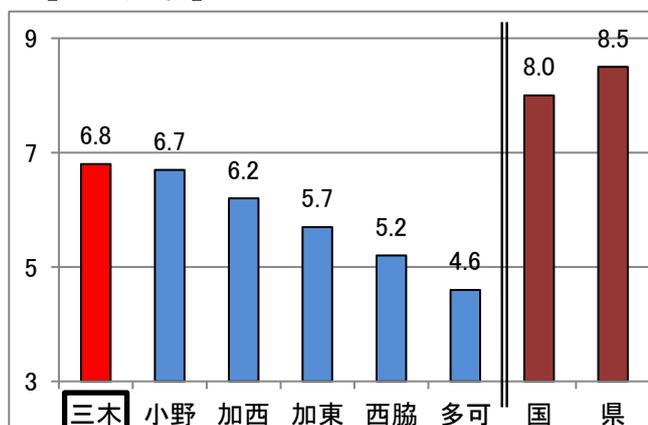
主な介護サービス別に見た場合の受給者1人当たり給付月額はその次のグラフのとおりです。

国・県平均よりも給付月額が比較的多いサービスは「通所介護」「地域密着型通所介護」「短期入所生活介護」などとなっています。

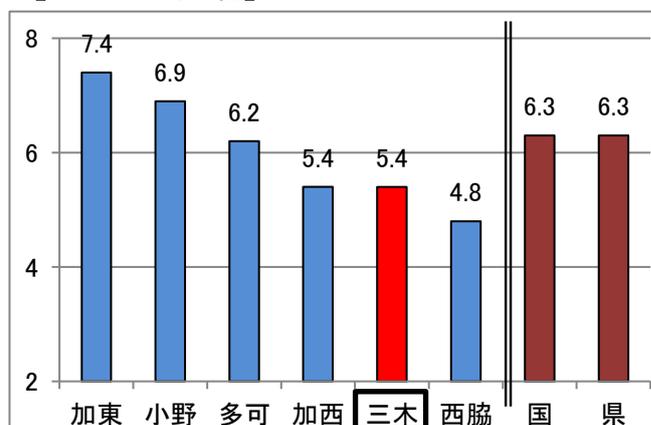
通所介護は、三木市の各地区に市立デイサービスセンターが計7か所整備されるなど、身近な地域でのサービス基盤が充実しているため、給付月額が多くなっていると考えられます。

短期入所生活介護は、三木市の利用者が国・県平均や北播磨市町よりも多くなっており、入所待ちなど長期の利用者が多いと考えられます。

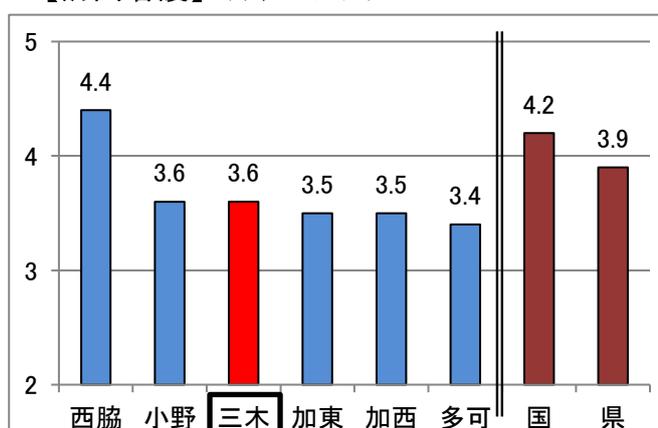
【訪問介護】（単位：万円）



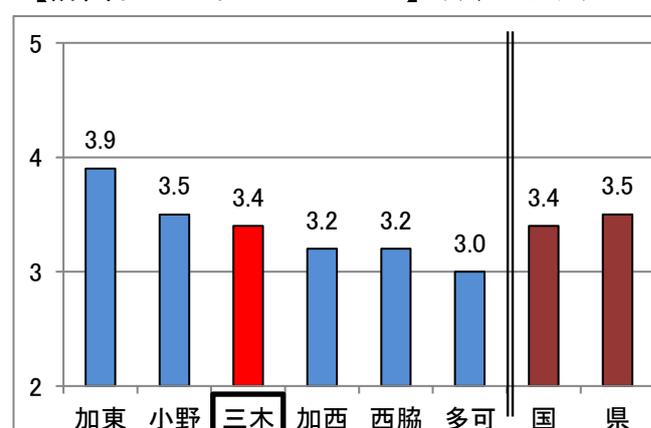
【訪問入浴介護】（単位：万円）



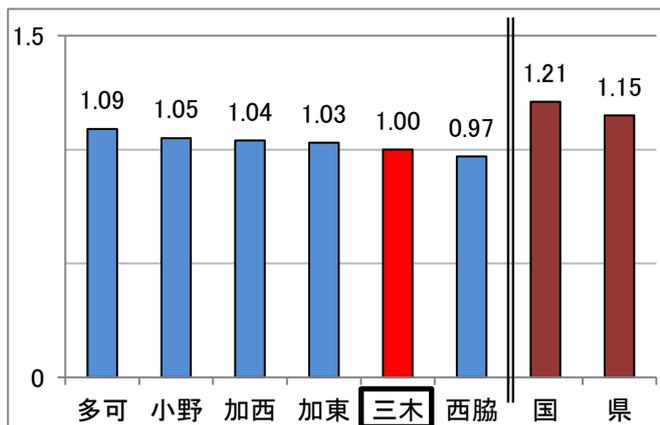
【訪問看護】（単位：万円）



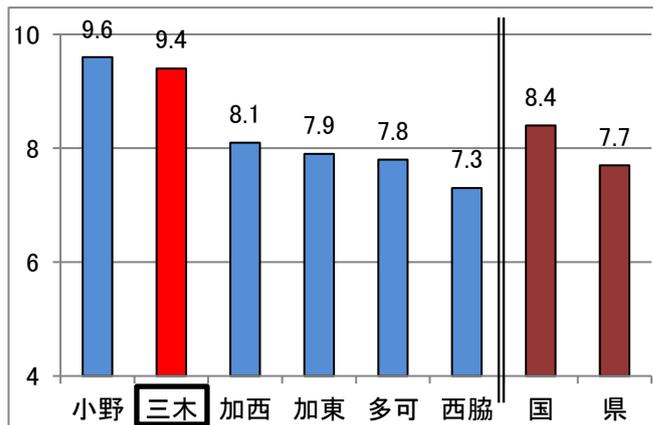
【訪問リハビリテーション】（単位：万円）



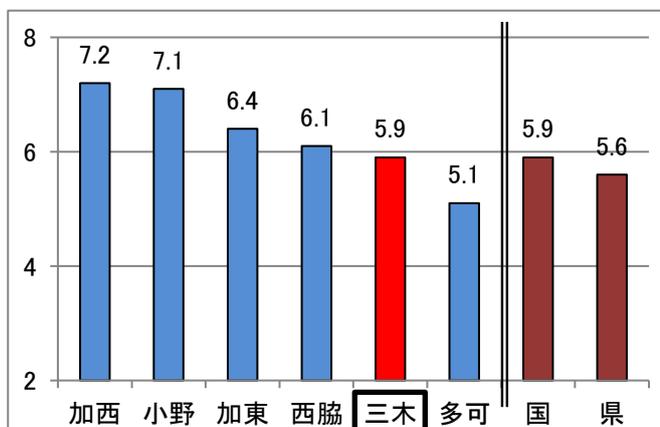
【福祉用具貸与】（単位：万円）



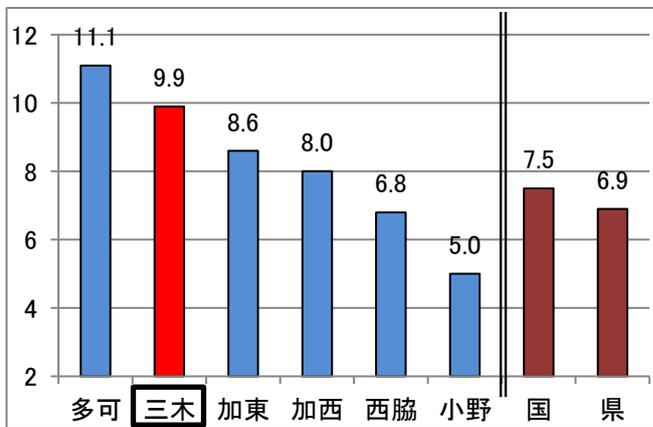
【通所介護】（単位：万円）



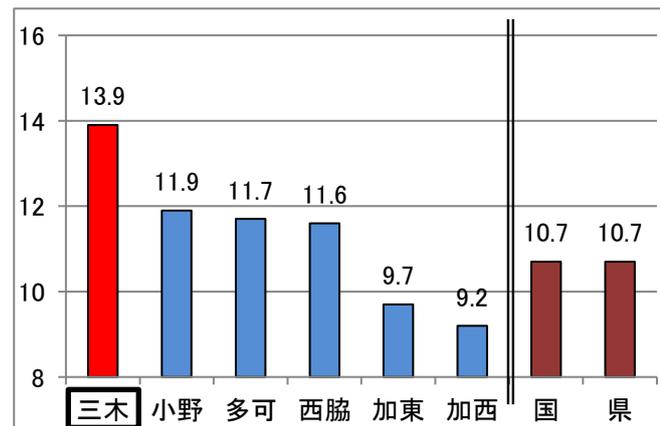
【通所リハビリテーション】（単位：万円）



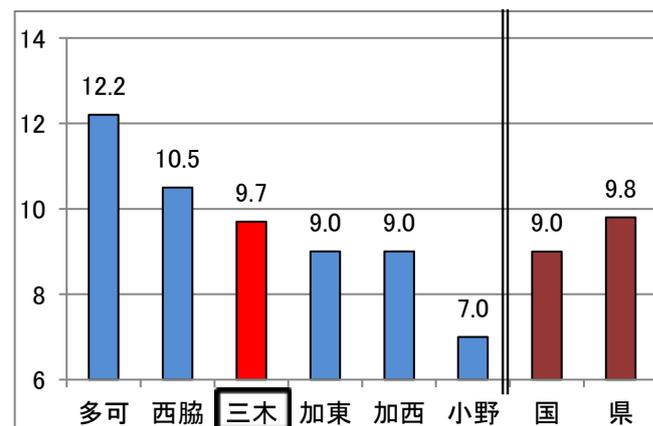
【地域密着型通所介護】（単位：万円）



【短期入所生活介護】（単位：万円）



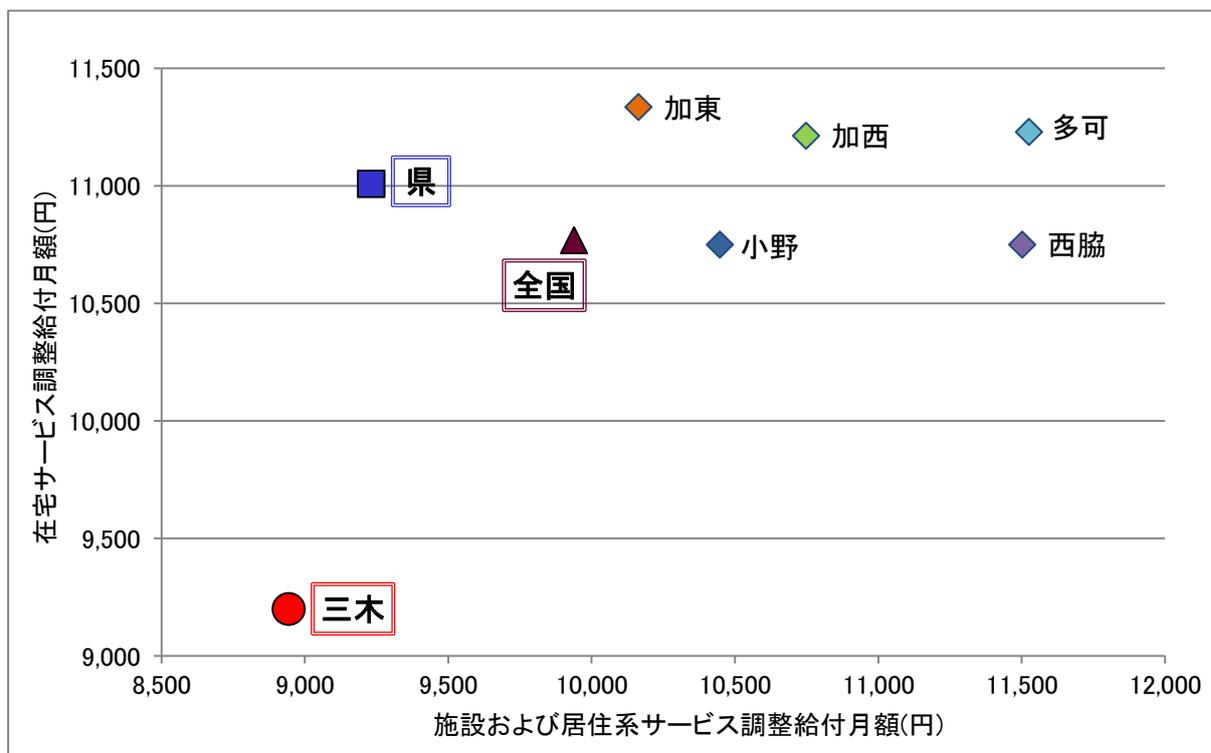
【短期入所療養介護】（単位：万円）



(2) 第1号被保険者1人当たりの給付月額（年齢等調整済み）〔令和4年度※〕

三木市の1人当たり給付月額は、北播磨市町などと比べて低い状況です。

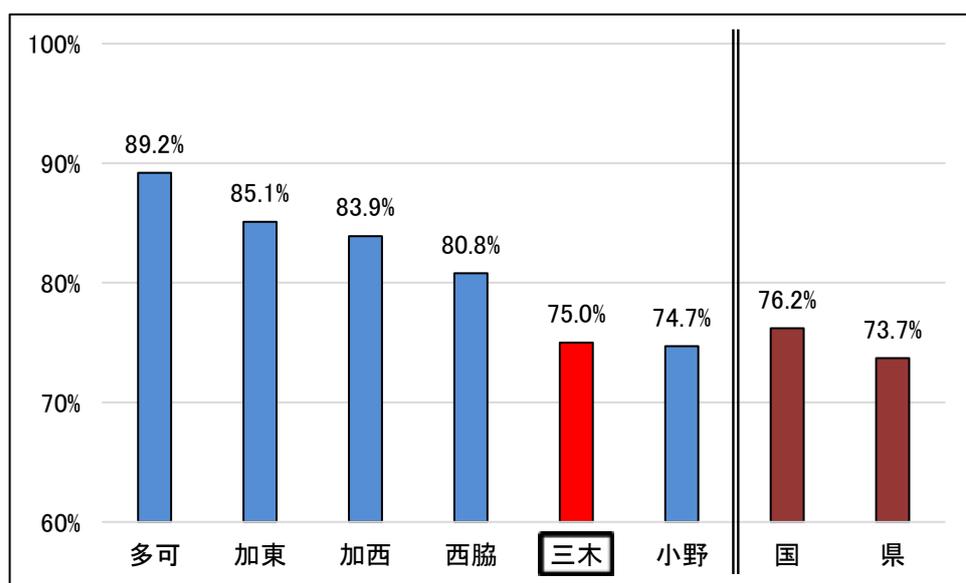
（※）この指標については、最新の公表値である令和4年度で比較しています。



5 介護サービス利用率 (令和5年度)

介護サービス利用率 = 受給者数 / 要介護認定者数

要介護認定者のうち、実際にサービスを利用している方（受給者）の割合については、三木市は北播磨市町と比べると低い状況であるものの、県平均と同程度となっています。



6 要支援・要介護者1人当たり定員 (令和5年度)

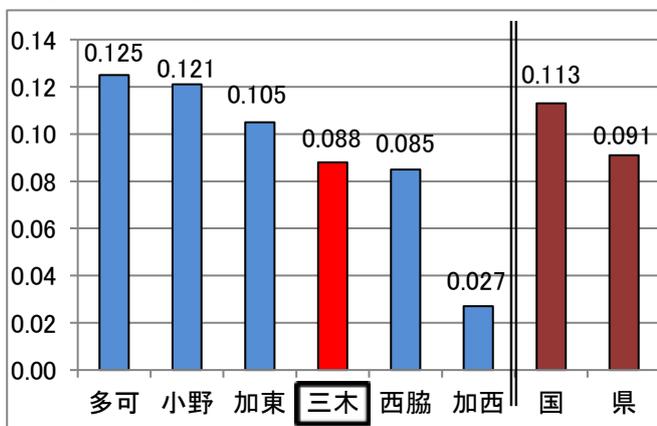
1人当たり定員 = 定員総数 / 要介護(支援)認定者数

主な通所系・居住系・施設サービスの定員について、要支援・要介護者1人当たりの割合を比較したところ、三木市が国・県よりも高いサービスは「通所リハビリテーション」「認知症対応型通所介護」「介護老人福祉施設」です。

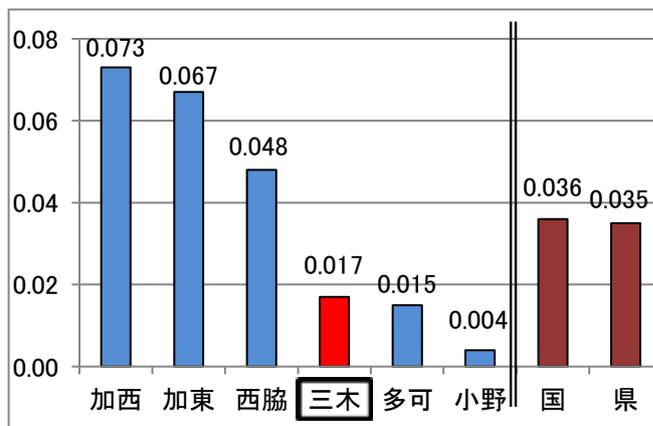
ただし、介護老人福祉施設は、北播磨市町の平均よりも低いこともあり、令和3年度に1施設(定員100人)開設する事業者を公募しました。

逆に、三木市が国・県や北播磨市町よりも低いサービスは、「地域密着型通所介護」「特定施設入居者生活介護」となっています。

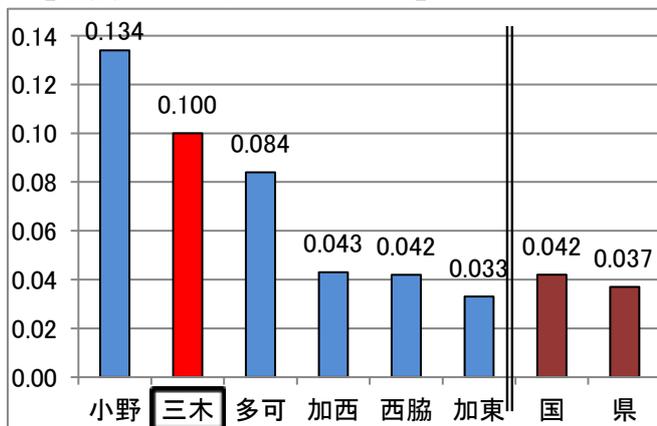
【通所介護】(単位:人)



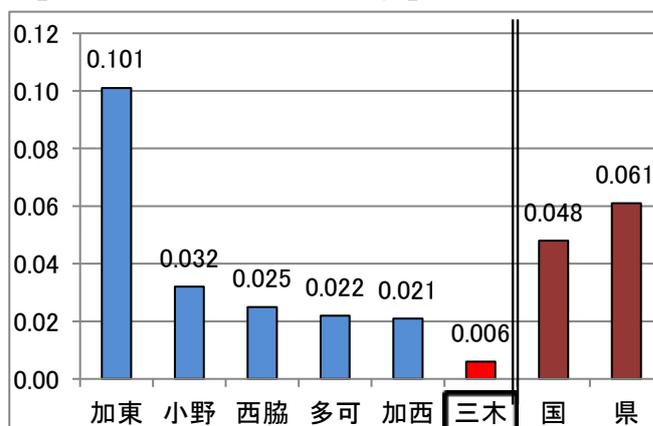
【地域密着型通所介護】(単位:人)



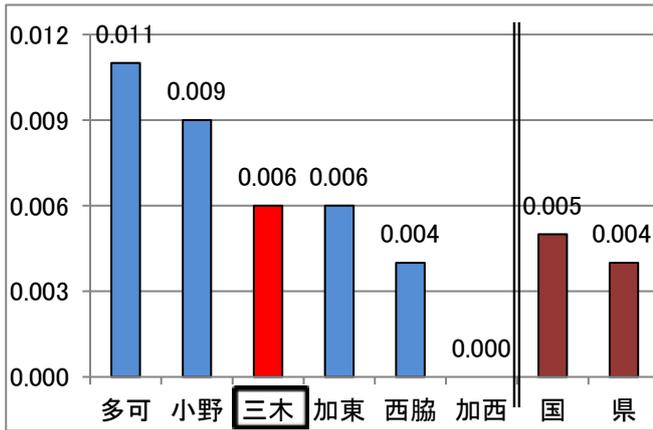
【通所リハビリテーション】(単位:人)



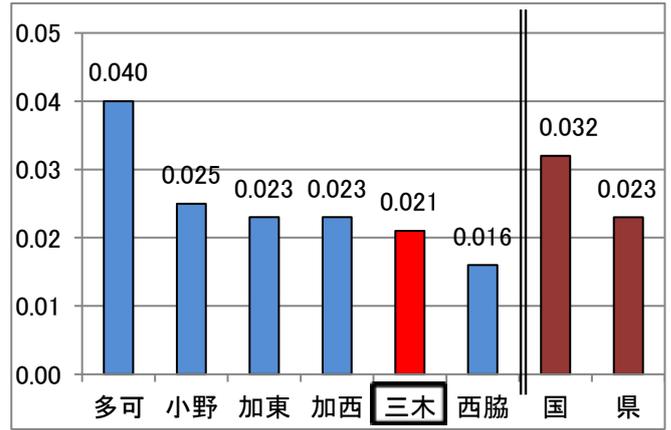
【特定施設入居者生活介護】(単位:人)



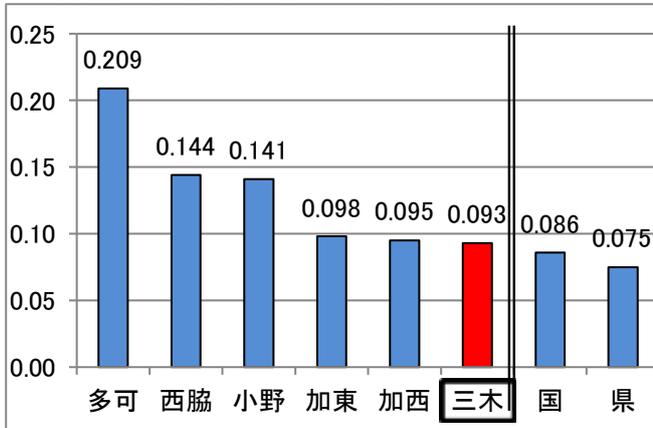
【認知症対応型通所介護】（単位：人）



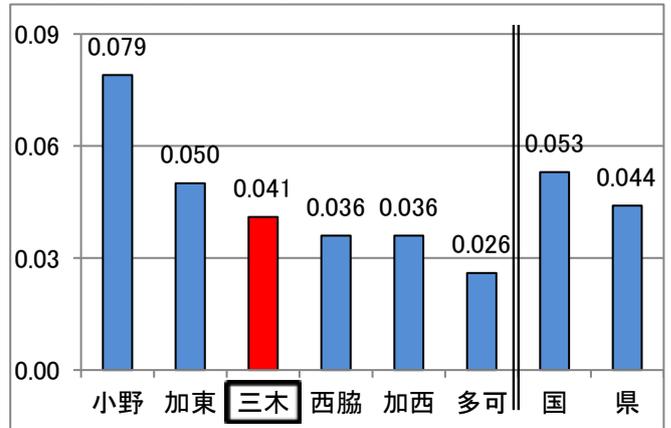
【認知症対応型共同生活介護】（単位：人）



【介護老人福祉施設】（単位：人）



【介護老人保健施設】（単位：人）



令和6年度に130床を整備
(6年度は0.093→0.120に上昇見込)